





門  
卷  
7

問  
齋

問  
齋

天保甲午新錫

此全如代  
古之元公也

車  
齋  
借  
錫

一名世婆必研



上の巻

子宮胞衣の形状かよび懷孕の事とてく  
懐妊をいふ。胎は大ききとをいふ。

鎮帯産褥の利害をいふ

胎の倚側を整復すべき術を示し

子宮の位置を探り知ることを示し

坐草分婉かよび胞衣を下し、尊小時むべしことを示し

臨産小坐婆の心得べしことをいふ

下の巻

産前後の病小坐婆のよ、ろえをいふことをいふ

兒の頭を露し、産るものを救ふ術をいふ

逆産をいふ、あがる術をいふ

坐産をいふ、まを産む術をいふ

横産をいふ、術をいふ

兒胎を翻轉し、産む術をいふ

産後小坐婆の心得べきあらま、いふ

以上十五个條



とりあげし心得草卷之上 一名坐婆必研

人向一生の果福とらふものゝ定あり。士農工商僧醫坐婆

そとくの世とて。皆未生以前小賦たは天命の免ぐは

そのたうは厭ふと厭ふらば求とも求得んや。とて、

あや上と下小佐らと。下と上小治らと。あひとを小力と合

く世代濟とのたうは。役丁轎夫の賤きものといふと。なけ

か草とて。い急小。事業乃やく。區小別たは。と。如天地化育

とて。後乃具小。と。その一ををいふ。のらむ。故小賤も侮べ人

とて。な。は。坐婆乃たがひち。人乃死生小係る。一大事

を任。容易たらぬ業ならん。試人小賤侮る。よ。持る。ゆ

急い。の。小。の。小。と。た。その。術小拙く。志篤らば。み。の



のらあは成中をたれとのなり。とやふより生命小開る職なはる。そ  
の設心乃善空悪と小ふり。日小福慶をを積ま。罪悪をも重  
るそのめ。た久過小より母子乃命を断あせあるも。とこ  
に故く爲る小をあらば。又成さるる人を殺乃たらひ小あらは  
な。君王の罰も免はせも。天道の照臨明察なはば。はひあひの  
乃定りたは果福のうち小を。たをを怨災咎小あひく。そのら  
ぬ終焉ととらげ。我乃餘殃成子孫小ま。及あせ。豈畏成は小  
あらばや。凡世乃中小生と。活るそのいのち惜いとあひの  
ぬもなく。そのととみと心成んとととる。天地生々の道  
合ひ。あは小逆くその生命を殘害も。天地乃心小背のむ小。  
その罪いづる免得成は。はは小を瓜葛のせひまるる。

成は垣成たは秘く蔓延ゆるあせも。眼ありくそ成のせ  
疑は。嚴乃穴小壓迫也。のらうとと發生於草木乃。ははり  
かり小空成さるる直遂をわも人な。手足ありて探索の  
あははは影くがあせ。蟲魚鳥獸乃命を。ととと。奔忙飲食  
成利はははら。草木はははら。害をのむひ生を  
欲あせ。わく乃如。ははは。萬物乃長く。人同乃命も。我乃  
貴あはと鳥獸草木乃比類も。成は小あらは。さはは。四民と  
くの世。り肝要なる中あは。醫士尊母乃輩も。のれ  
貴重乃人命小係。その秘小く。忽略も。成は。あは  
か。と。りまけ。收生媪乃は。と。心を勞も。の。不  
淨を執業なは。好。為成は小。あらは。は。壯小。



夫小その色。詫なれ子かな。色をなす色。不得已乃世。そつりや  
きれ。そのかた。ゆゝもあらざつ先。進。し。せ。く。小坐婆とかりた  
らば。あ。は。は。糊。口。との。ん。得。く。た。く。時。の。は。さ。入。合。ぬ。は。は。事。  
は。を。空。か。そ。ん。あ。と。罪。の。空。ふ。つ。れ。あ。と。找。の。前。ゆ。も。い。ふ  
お。や。く。武。門。小。生。を。商。賣。と。か。る。或。ち。緇。徒。坐。婆。と。か。れ。こ。と  
も。あ。は。は。ね。あ。る。世。小。生。を。う。け。が。れ。ゆ。ゆ。を。定。く。れ。あ。と  
ゆ。く。その。人。々。小。具。と。る。職。分。か。り。又。業。を。轉。つ。く。鑿。ゆ。か。り。  
俗。然。出。く。僧。と。か。り。夫。小。後。く。坐。婆。と。か。れ。と。た。と。人。か。の。の  
を。や。う。り。志。願。と。く。は。あ。り。と。と。皆。冥。々。中。小。定。ま。あ。れ。あ。と  
小。く。天地。乃。自然。ふ。れ。もの。なり。ゆ。ゆ。小。世。乃。坐。婆。と。らん  
その。う。く。この。道。理。を。辨。知。く。その。存。心。ふ。ふ。ろ。う。く。れ。だ。不

淨をこそあつ。う。た。び。あ。や。ふ。身。乃。罪。過。を。滅。く。菩。提。を。植  
る。種。と。か。り。く。後。生。願。乃。珠。數。は。ま。ぐ。り。稱。名。誦。經。と。れ。よ  
す。も。た。れ。の。小。は。さ。つ。れ。善。根。と。か。る。な。る。く。の。を。く。く。か。り。  
活。人。手。段。を。職。や。な。さ。と。あ。と。ゆ。く。と。果。福。乃。勝。因。と。の。ゆ。て。  
よ。は。こ。ふ。な。れ。こ。と。小。と。あ。り。な。る。さ。と。と。を。や。と。の。報。を。待。く  
身。乃。生。計。と。せん。の。た。め。か。ら。も。の。ま。陣。痛。を。た。ら。さ。く。腹。剖  
れ。の。あ。と。き。苦。楚。を。眼。前。と。れ。と。れ。小。あ。り。て。と。その。報。の。多。寡  
の。く。く。ん。ふ。う。ふ。ぶ。た。た。産。婦。と。り。や。を。も。心。を。惱。め。た。を。く  
免。身。せん。と。か。も。う。乃。外。ゆ。く。慮。他。た。の。れ。な。る。と。志。の。を。わ。く。る。痛  
苦。を。視。な。ら。た。く。名。利。乃。心。を。ま。た。さ。む。く。と。憐。忍。な。れ。行  
あり。く。も。お。と。そ。ぬ。詬。辱。と。り。く。世。乃。話。柄。な。る。れ。と。天



綱必漏なづかすは。つたあや。我もあそろしとちかおそるぢや。こころの  
たりと慈心あはれあるもの。百計ひゃくけいくぢの苦を救得きうとくさせんとた  
そひかゝると困洪くわんこう危険きけん乃証しやうのりくも。その術精到じゆうけうたうたうで  
ち中々ちゆうぢゆう救活きうかくをたあやふあら秘ひを坐ざあはれ視しのそふく。我ら  
人を殺ころふりくくも。その罪つみやくひやくのたを。世間よこしま産婆さんばの為  
こあ後ごら。た習熟じゆじゆくたりとひはぐひく。そやうり術じゆつを法ほふもあ  
れふあらぬぢ。と舉こたへ子こ乃のここのと。己おのれの任にんとおととも免乳めんにち  
乃一條ないうぢようふあひくも。その死生しせい成委せいゐひく。わしその處置きぢ小隨せうじく。  
一たび誤事ごじぢ。母子ぼしを小命せうめいを殞おとふい。うれゆゑ小。とつとも  
恐慎おそしんく。講究かうきゆうとへた重責じゆうせきからぢや。世小産科よせうさんか鑿たくとふべも  
乃ち。そのこゝ京師きやうし小賀川かががわ玄悦げんえつ子こ玄子げんことひひ。世小よせもぐれ

たる者出しやのく。海外かいがい小此方ここのもむ。とつとも聞きあやる産術さんじゆつ  
と。おのの創意かういよりとつら験けんく。人乃危急ひとのみきんを救きうたれ。その精妙しゆめう  
そのひはぐもあら秘ひ。回生術くわいせいじゆつとひひ。釣つぎを用もちく子こを探出たんしゆつ  
とよの成秘訣せいひくとつ。高足たうそく乃門人もんじん小此ここのと成せいひたり  
と聽きり。利りこやあはれ必害ひつがいこと従したがひ自然ぜんぜん乃理りひく。今いまふりく  
てちの危きく人命じんめいを戕傷せうしやうふ不仁ふじん乃尤なほなれとやれあり。と  
とてと子こを子こもあはれ恐おそく。産論さんろんとひ書かふも釣術つぎのじゆつ  
と教しやうさ。妾めかけ小人ひと小傳つたへさう。と末流まつりゆう小あり。とのほく  
みとあろとのにありひく。とつとも不解ふせとの。二の説せつと  
聞きどり。回生くわいせい乃釣つぎと市いち小ゆゑ。妾意めかけい小用もちく人ひととあはれはる。  
あや多く。その惨虐せんげつとつとも憎にくむた輩たいあり。とつともあり











る。まろ強健なれ婦人小あること小く。病とら穢つたれもの多  
し。備と白帶下としつものち。子宮頸と陰戸乃同より洩出る液  
少く。慾情を起し。かよび交接乃とれ少をりもの少く。粘滑  
おれものゆ急小。分娩乃とれ小を殊おなく出て。胎児出路の便と  
なる。自然乃妙理慮を。孕とれ少を。子宮意外に開張。月々膨  
脹す。諸臓を推排て。逐次小圓なれ。將産する。交骨両方へむらき。  
産戸寛滴かり。胎児うほせ出たなり。胎児母乃胎内小舎あ  
ひごら。柔軟少く。胸腹もくゆる。産出小凝滞なけきとも。一た  
び氣を吸呼しけちら。腹肚四體膨脹す。關節硬なり。頭を出し  
て。肩もくく。手足乃礙住す。出づたれとある小をひたれ也  
胞衣も。子宮底小着す。受胎乃はとめより。月経乃血を以て漸

次小成もの少く。微細小くつて。三膜を層たれ囊少く。そのうさ  
なりたれ膜小をまての受用あり。臍帯も。この胞衣より血を流  
たす。児を養ふ道路少く。乃月経乃常あり子宮へまて復  
とら移たれ血を。今まにけく。胎を育たれあまりの。まてび  
臍帯を傳胞衣より子宮底小く。母乃體中小く。胎がゆ急  
小。血流たれ管一と。の血を管二乃。三條を糾合し。その間小。  
児の膀胱より小水をうけく。胞衣のうちへ泄出。臍帯乃血管れ  
外胎膜乃内代傳す。母乃膀胱へ輸を路あせと。微細たつゆ急  
小。ええ。た。燎然。知る。胎をのち。三合繩を外より膜  
より裏たれものなり。このうち小胎児より母乃體へ血流の急を  
二乃管少く。脈動おれゆ急小。分娩のたれ臍帯を壓し。ひさしけ







く。月を逐く形をなすと云ふなり。その説乃宜然なりと推知も予知る  
人小鶏卵乃のなりや。里たるを逐次小破く。是をのありし小。そのそト  
め小喙と云ふなり。その中ニ小黒點を見。その後小。是小加る小赤小點よ  
里血系乃連続たるもの成て。漸小明小なり。形體具成とのなり。人も胎  
かくのありや。漸次小形體具く。乃五十日乃胎のやう小なるものや  
又鼻と人生乃をいめたることや。むくくの人乃の産るごとく。順  
産乃必鼻を陰戸小むけく。産出く。天地乃氣を容受あやるといふを  
是色也。實小其驗ありく。自然乃理思ふ。ゆゑ小をさく小孕と  
里空知く。ゆゑかくその形あるものな色バ。たくと二三月小く墮胎  
したることを。人乃體を具するもの。と。則小をく。ゆゑの是ざるもの  
おれら。そのありあるあやうと思ふなり。胞衣を。胎小從く成その小く

子宮底小つれく。たくと果實乃蒂を上小く。枝小在のありと  
く。尻を蓋そのありあらむ。胞衣の被膜中も。粘滑たる水液  
充滿し。月滿されありごとく。胎児の水液乃中も浮游く。位置定  
里ありやうなるとも。月次逐く大くおれら。このひて。必子  
宮底乃胞衣乃蒂小相對し。母の背へむく。頭を下小く。尻を上  
めし。両手あり。腮を挂へ。膝を曲く。腹乃前へおれ。踵を臀小付け。  
面を膝頭と残ひくところへせ。腹上へ相會く。形小なりて。  
背と母乃腹乃く。又むけ。頭を尻より低く。形状具。腸胃機轉の  
くるそのなき小なりて。被膜中乃水液の兒乃口中より添入  
く。滋養とあるものゆゑ小。産出く。黒尿を通むる。胎内小ある  
うち乃大便なり。兒己小活氣を得てのちあり。自動く。残為

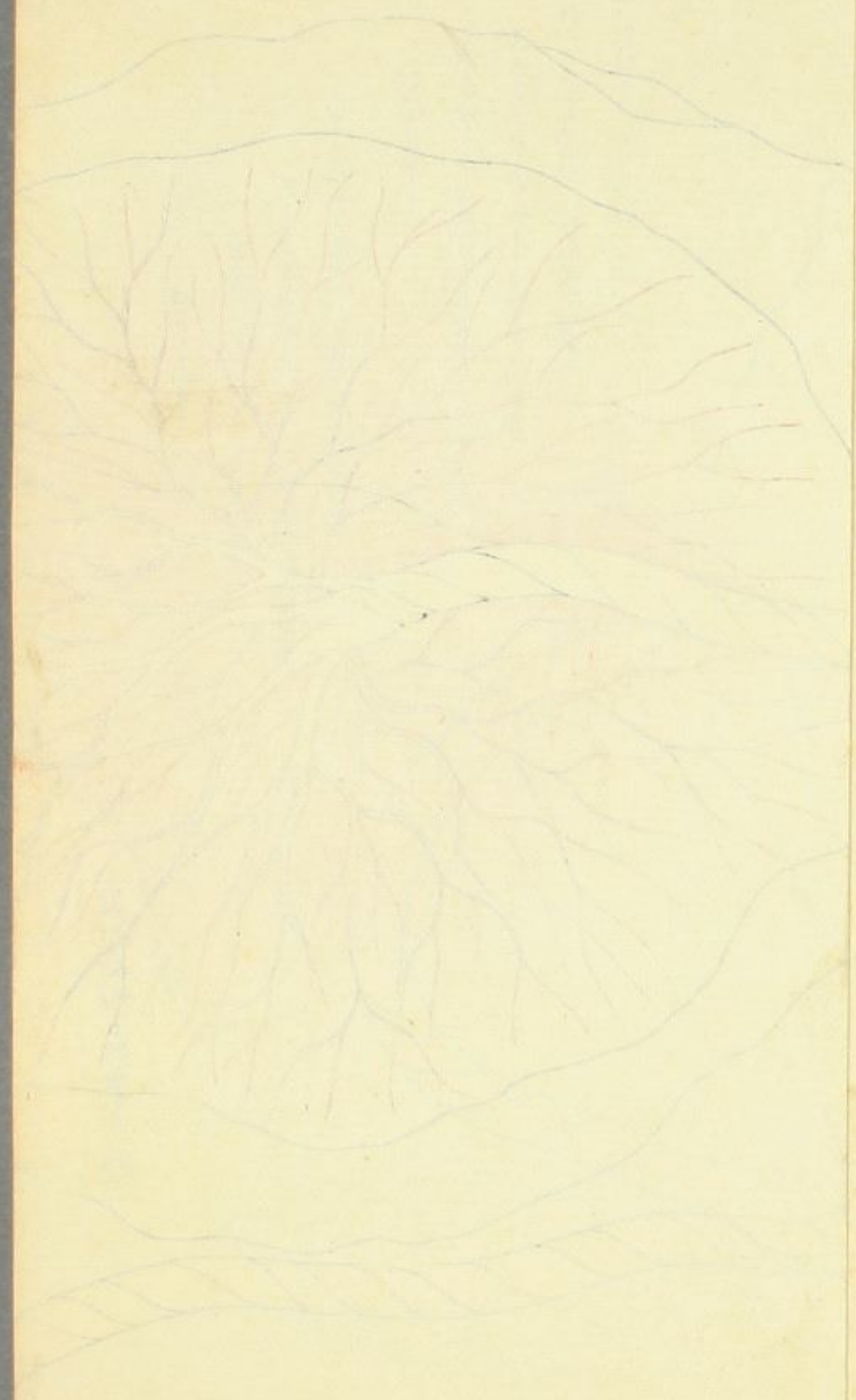






背面上首小孕あや。恐々その理あるがたあやふあら祿と。事物の  
衰々そのりや。死そのなきが。あふ疑かたるやあやと。志をらく  
後日乃發明をほちるひあやあるが。九事物の上よりい  
るが。胎児乃頭も。我の體よりけりあひかそく。天地の條理より  
のへ。形をかきふ先鼻より。呼吸より生活べ死そのなきを。  
口鼻を先出さんとして。自然と頭を下おむる。むね。正孕かて  
あねる。ゆえ小先脚を出し。あひら尻を出し。なやまをたねの管を  
の衰小く。常とく。たねるそのなき。順逆乃理小拘らむ。これ  
を救乃術あねる。下糸小説示を看く。明小知べ。こも  
小胞衣被膜臍帯と連續寫真を出し。その大略を示す。

懷妊を知る大略を示す





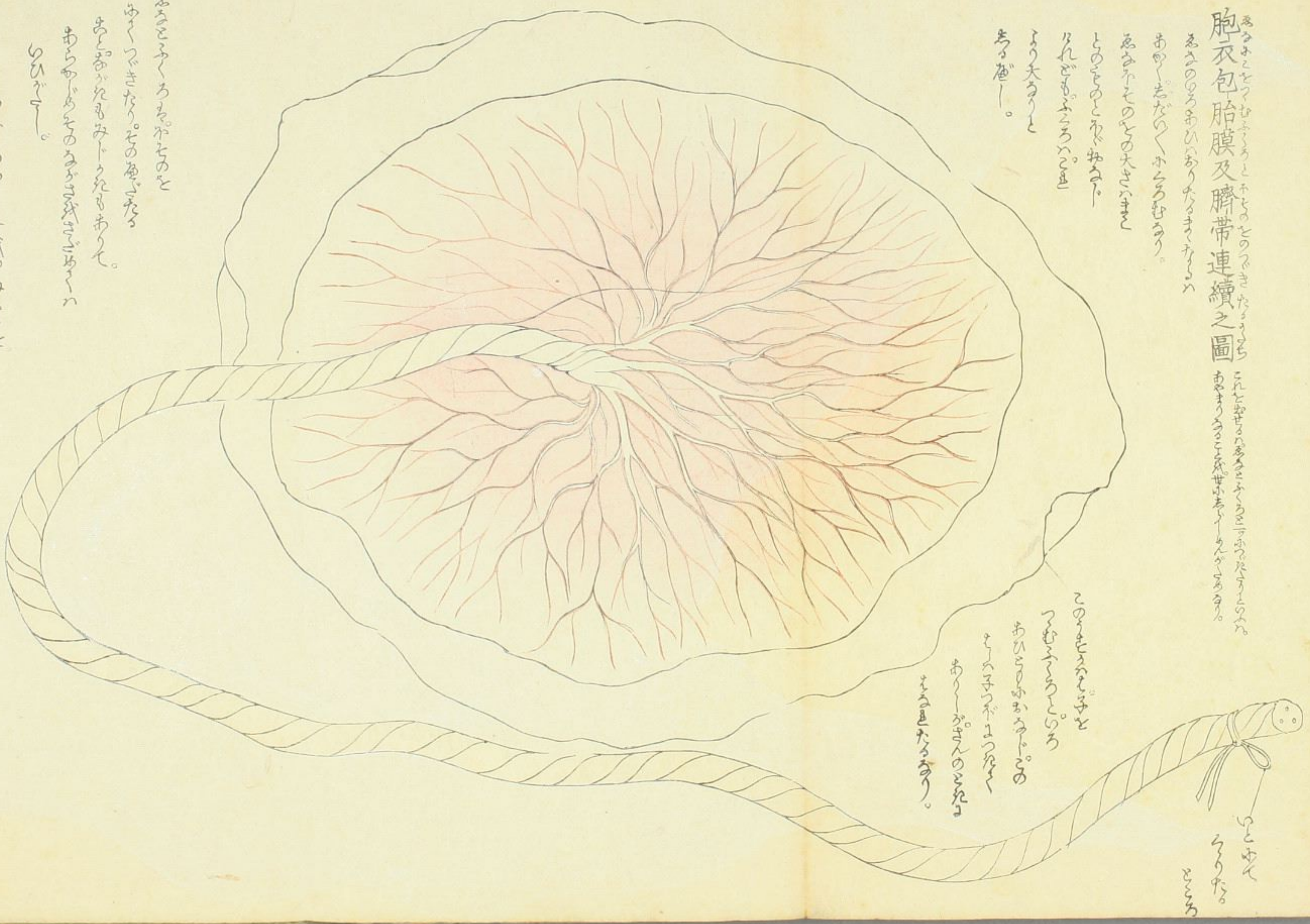




小胞衣被膜臍帶と連續寫真を出し。その大略を示す。  
 懷妊を知る爲に大略を示す。

胞衣包胎膜及臍帶連續之圖

此の圖は胎兒の胎盤に於ける血管の分布を示す。胎盤の中心部より胎兒に血管が走り、胎盤の周囲に血管が分布する。胎盤の中心部は胎兒の頭部に向つて、胎盤の周囲は胎兒の脚部に向つて分布する。

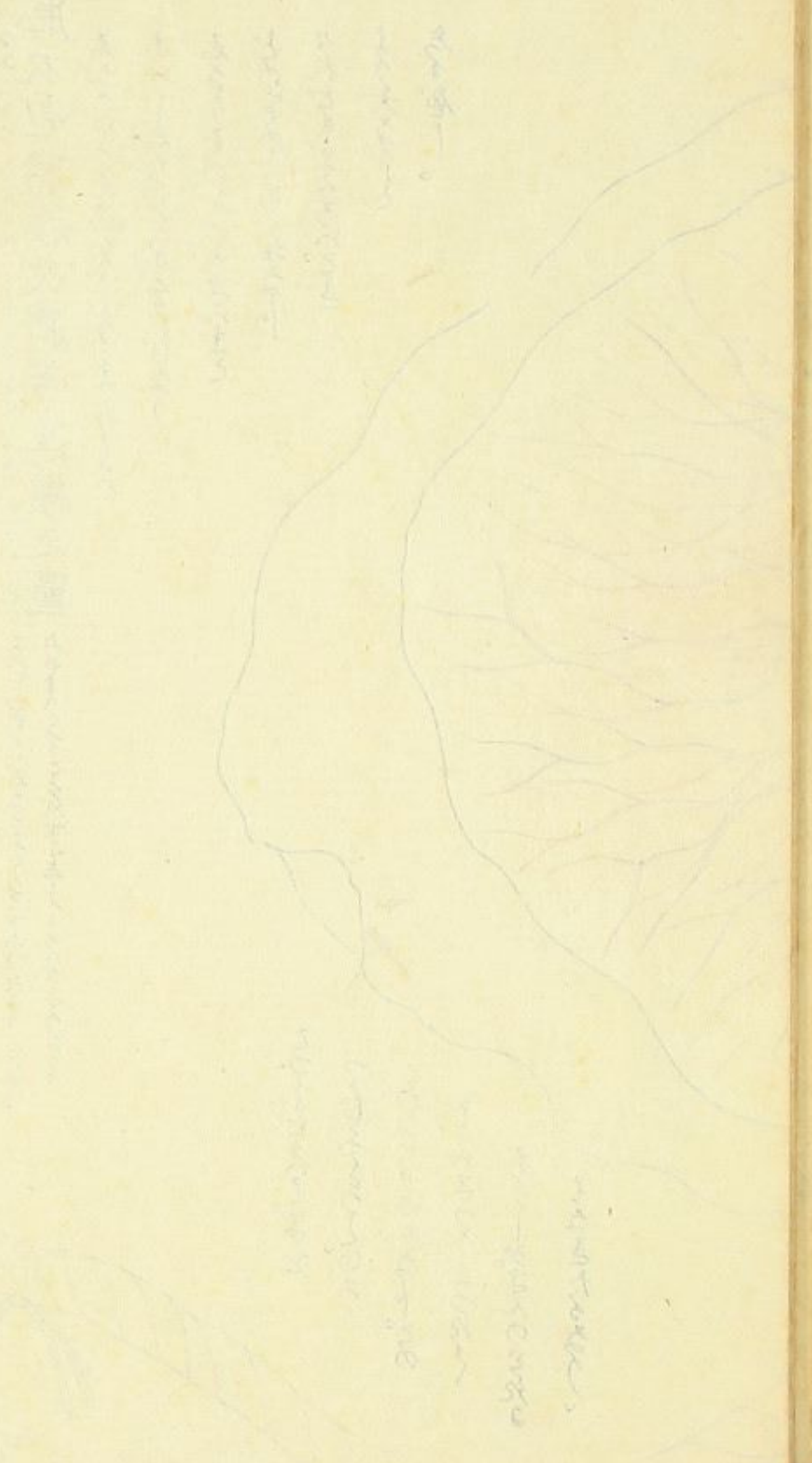


胎盤の中心部  
 胎盤の周囲部  
 胎盤の中心部  
 胎盤の周囲部

胎盤の中心部  
 胎盤の周囲部  
 胎盤の中心部  
 胎盤の周囲部



一切の事こと学まなぶより馴なれり俗諺よこしまことわざのいふ如ごとく也なり。實地じつちはわづら  
くまされあやう。皆車みなくるま熟じやくたるその小及こおよぶるあとも多おほし。妊くわみゆん娠ごんのそと  
め決定けつぎんすること尋常ゆんじょうの醫い師しより坐婆ざははさきれたるものあるが  
あつた也なり。ゆゑ傳つたへた法則ほふそくのあつたをあらねど皆臆おそ怖おそめくは  
た謬あやまりなればなりもあらば辯胎べんたいのころ成なれど物もの惣おんて乃術じゆつを賀が  
川家がわいけの産論さんろんおよび翼よくたの書のかん小せうらへて記あやす。餘蘊あまりなればなりも  
志こころざしあらん坐婆ざはも。我われのあや成なれりて學まなぶ人ひとははきき  
る人ひと成なれりて志こころざしのざれぬ。志こころざしのあやも。坐婆ざはの事こと  
も一人ひとり一智いちちの究盡きゆうじんことわりなり。子こ女に子こ不ふ也なり人ひと  
小せうも猶臆おそ断たん誣あやたるあやなればなりもあらざ。一ひとのあやと  
も今いま乃なり世よ小産科せうさんか證しやうしよもそのもの。皆みなその流ながれとらる。その説せつ













ら思ふものなり。

子宮こつがの中うち小水こみづ液じやく留とど溜め滞ち経行けいぎやうとあり。懐妊くわいじん乃すなはちやう小脹こふくらぐくも  
のあり。あまふたましく小あぶらこあぶら疝せきかれども。はづひはづひをきたるものあり  
どがひく須知しゆちをたて置たり。

おのり外がわのをも辨胎べんたいの候ときともなふたものも。賀川家かがわ乃すなはち書小詳しやくせうあり  
ども。いづれ乃すなはち候ときも。そまどをなむとひくも。己おのれが成なりん乃すなはち  
小誤せうごまじく疑似ぎんぎぬりの成なりとまじと定さだめ。人小笑にんせうるもあまふたふた  
まじ。一端いちたん小々せうせう心得こころえがこめられたる。事こと熟じやくくのむらう。あまがら小腹せうぶ  
をも又またど證しやうをも聴ききど。たがふ小ことなく懐妊くわいじんわくるものなり。成知せいち  
その造詣ぞうぎ小このりく。筆ふで小こも辞ことば小こも述のぶるものなり。たぐ  
扱あつかひ入いる目めの妙契せうせき小こあるなり。

鎮帯産椅ちんたいさんぎの利害りがいをこく

鎮帯ちんたい乃すなはち胎たをさまたげられたる。後藤良山ごとうりやうざんもいふくその説せつあり。  
然しかしとも人情にんじやうの廢せつたこと成なりりひかれたる。確言かくげんゆ。そ  
の子仲こちゆうもそのことを成なり述のぶる文ぶんあり。その他その他小こを鎮帯ちんたいの害がいを論ろんせ  
しそのあり。その後のちもいふく。賀川かがわ子こ女子こ小このりく  
て。自己おのれの發明ふみんより專せんその説せつをさる。産論さんろん中ちゆう小こその害がいあるこ  
と成論せいろんト帯おびを太おとく用もちひめざり。その理りも至當しつたうせることなれ  
ども。世人よじん信疑しんぎ相半さうはんく從したがふもの多おほれ。舊習くしゆしゆ乃すなはち  
あまふたあら。トめ察さつしたる。良山りやうざん乃すなはち遠慮えんりょあり。小このりく仰おほげし。  
はらうく帯おびの害がいを為なすことあり。成考せいこうも全く坐婆ざはのりくへあま  
たふたれ布ぬと繩なはのやう小交せうかうく。たぐく薪たぎを束たむるやう小力せうりき小







逐次小膨脹て。腸胃を下より推排す。胸下小餘地無きものを。  
たれ坐婆乃所為小はくのせ。胸下縛禁くそのくより壓迫せ。  
たののそならむ人乃體を裙襖裹足乃やう小あらえく。脚を屈  
て寝ささる。胎兒足を母乃股へさしあむものをどた論へ甚き  
壁小膝伏つればけ。股小蓐子をひかきして是非と小脚を伸さ  
せぬやう小さきとれなり。かく上下よりこせ成迫窘く。窄隘腹中  
小。胎兒歪側小からる。且上を飲食乃運化をさ  
へ下を兩便乃通路成妨。暗小産前後乃苦惱となること成さ  
らざれ。あさはくくわくたのゆなり。産後乃帯も右の  
おろく。産たれやのや。力はせ小繫ゆ多小。胞衣を帯り上小阻く。  
い小拽とと下ぬうち小期をの。子宮乃口成困らさく。遂小

臍帯を拽たちく。驚愕あやあれと。皆坐婆の朱錯小よさなる  
まけり。そ乃佗畜血崩漏眩運た乃病の發るも。この帯小よ  
れその多けさ。帯を去り用ひざる賀川家の發明も。その理至  
極せるあこ小あさとも。數百年乃むのより着帯をいさす  
と俗習となりたる。我やあよとのことその事必行つる。あつた  
あつたからむ。我邦小むのよりあさ我用ること。あつたあつた  
あつた。腹上胎位乃正中より腰へあけく纏たるものある。あつた  
も。大畧小推知たると。我はさきたり小傳たれあさある小もあ  
らねと。あつた事實小試る小。その全腹をばとひたる。こ色小  
よりて腹力を助るたよりとなる。あつたあつた。熟考小。一向小補  
なく害のそあるりのからむ。あつたあつた。星霜を歴て。その事







身を横小とれんとす。扱の横たるもの倒たるものより得たる  
天然たる害あるを治すことなく。は狗猫を治す難産ある  
も。杖筭小うたき高より落たると。胎位を害たるもの少くある  
なれども。鳥獸を人小比ぶる。皆その自然小任るゆゑ小。たとへ産の  
秘くも。人小の困病あることなり。人小なまの小點慧あるゆゑ  
小。や。と。天然小恃る。畜生小かとりたる害を招くある小  
ゆゑも。嘆したることあり。さうその全腹をうろく纏る  
鎮帯も。陣痛至たれとれぬ。先とる除く産小の。胞衣出を  
とりたるは。ゆび布を二小をり。胸下臍上小く腹乃中不ど  
を左右章門のあり人のけ。寛む緊うらぬやう小ま。こま。こ  
扱の益あるとたり。この帯も自産婆乃為とる小委くよけ色

せもた。胞衣下ぬあひひ。決る帯させぬがよ。胞衣下て後小  
も必帯く益あるけり。惣臨産小。身體寧急甚く。血脈  
振盪く。上さうん小下より。子宮ひらき。胎兒産門小臨。その苦悶大  
の。ならぬもの。己小分娩とる。胞衣も尋く下るの後。腹裏小  
も小空洞小なり。寧急ゆるはり。振盪やう。上小迫り。血の道  
を回て下小進んとする。たとへも法馬をた。たる秤盤。一方  
小歌ん。この時小あり。眩運崩血衰證ある  
も。今帯とる。この空洞小なり。た腹をこの後  
纏絡て力を助。その衰をせ。の益を得あり。志うら帯  
乃用を少。坐渡女の。緊く腹中  
とる。胞衣下され。その出路を阻隔の害大



子宮こころをほく緊縮しめつけらるる。下くだに残血のこりけつを滞とどめたる。腸胃ちやういの傳化でんかをも妨さまたげ崩血ゆがけち脈運みやくうんの症あやまり。あはれうらうらあはれと發はる。賀川かがわ氏しのいふいふ。その自然しぜん小こはる。一向いこう小こ帯たを去やめて用もちざる。あはれ尤優いゆうことたる。あはれまゝ人情にんじやうの小こ更さらなる。さうもなのなとな予よの今いまのよよととろろ小こ沿よべし。ささままととの益えきありりとと害がいハハななく。俗習しやくしゆを改あらへ世間せけん小こ懐くわいむ。折あ中ちゆう宜いを得えるるののなり。ははとと今いま用もちるるととああららの産い椅ぎの製せいいいづづとと世よ小こままりりたたりりののたたりりなららるる。縁ゆかりどどのの親おやああとと異い邦ほう小こを聽き及およぶぶ。全ぜんく俗家しやくか乃な意料いぎやうより出でたたるる。その小こ産さん後ご乃な山血さんけつ金創きんそうととおおなないいとと小こ心得こころえたるるより乃な所ところ為なるる。明あきらく小こ知したたり。邊鄙へんべい小こを設まけけたたり。後ごああるる小こ産さん婦ぶ乃な復本ふくほんととのの急いそぐぐ速すみかかるるとと思おもははるる。その利害りやくがい自みづか知しるる急いそぐ

きまきのの急いそぐぐなり。近ちかころ小こ梅村うめむらのの一ひと婦によ乃な路頭ろづ小こ産さんして。其そののの児こを水みづのの深ふか浴ゆ懐くわい小こ抱いだささるるのの旁わらわの家いへ小こ立たり。湯か一ひと盞さんをを乞こひひ契せきとと親おやはは小こ健歩けんぷて行ゆくく。錢ぜにののああるるをを親おやののあり。近ちか載ざい小こををののああららむむ。産い椅ぎのの小こららああららむむ。混沌こんとん之の鑿さく小こよりて。害がいをを為なすす。この類るい世よ小こ多おほくくなり。産さん後ご乃な必かなら子こ玄子げんこ乃な説せつ小こ從したがふ。高枕かうしん小こ右側卧みぎがわにふし小こささとと親おやををよよとと産い椅ぎをを決きして用もちふふ。たたのの小こああららむむ。この産さん後ご乃な腦のうもも少すく遺患いゝんありりとといいふふ。治ちやう術じゆつをを施せししややままくく。大おほ小こ利益りやくあるるととなり。ゆゆ急いそ小こ産論さんろんのの産い椅ぎのの小こ害がいを示したり。その小こ害がいととのの第一だいいちらら。産さんままとと腹内はらうちのの小こ空くう洞どう小こなるるととののををははるる。起歩おこしるる産い椅ぎ小こははるるゆゆ急いそ小こ。ややととままととハ眩運めづん鬱冒ふさみ症しやうをを發はるることあり。二ふたつつのの産い椅ぎ中ちゆう小こ跪坐くわいざとと横よこ







くせふかりく。整復てそやうくはし倚側、そのなり。とくきより  
く腰脚引はり。甚きも起あやならも。腰脚も色。脚弱。痔疾。小便  
秘閉かど發とあり。産小臨く。児の手や脚を先出し。或ハ尻をお  
らち。頭顱産門小まささうりく産うぬれり類皆胎位の正し。ら  
ぬふりれそのなり。ゆ急小五六月のれちち。日々とりくあろるは  
けく。とくく。小くも倚側あ。あらハ必正中へ推がうておく。産  
まあとかり。病家須知小記を死あとも省く。こく小くた。收生媪  
のため小。整胎術の簡便その三條を載るの。子玄子を胎右小  
倚側やま。このひたきとも。左右くも小か。これ。右小  
の。く。の。だら。も。燥尿を分排あや成りへ。と。と。く。く。の。く。の。く。  
ん。整胎術乃大要也。胎乃下へさ。う。たる。を。上へ。擡。挙。く。の。こ

う。の。の。の。の。正中へ推送が主意ゆ。外小為産死ことなり。ゆ急  
小持の意を得たれ後小。己の意料を用。いのやうあ。行ふべ  
あ。か。このあ。か。ぎ。ら。も。惣。く。乃。手術に定たれあ。ある。あ。ち  
あ。ら。む。時小臨く。いのやう小を便宜小從く。宜あ。く。の。ひ。て。こ。く  
は。え。な。ま。き。こ。く。な。り。は。の。整胎乃法といへ。婦を仰小臥せ。中  
くと胸より腹へな。お。ろ。く。その心のおち。く。や。う。小。く。或ハ兩  
指頭ふ。婦乃肋骨小沿く。左右章門のあ。う。へ。か。か。後。し。  
は。た。股のあ。う。り。ま。か。も。う。く。按摩し。後小胎乃倚側を。診て  
術を施かり。坐婆婦乃左小坐たら。下部小む。ひ。く。坐婆の  
兩手。の。の。の。の。婦の小腹乃下横骨乃間へ。入。胎。上  
の。の。の。の。搜。挙。や。う。ふ。く。左の手と。の。ま。く。物。と。小。あ。れ。右の手小



て。其の右へ倚側せられた。四指頭を用ひ正中へ推送り。左へ倚側た  
るも掌後を用ひむのつとむ。正中へ送り。その後むくと胎  
の左右上下を按摩す。とむく支障そのたれん小  
の左右上下を按摩す。とむく支障そのたれん小  
して整頓せし。とむく術を施す。おのの腰小  
カとのとむく。指頭をむらむと事を行べきなり。必く指頭の  
みぬく力ははるせふくも。かそよやう小を施す。たれん小  
心得べし。とむく胎大小下て。横骨間小指頭よりかきさりのも。  
婦の膝を堅くむと必指す。たれん小。たれん小。術を施す。後そ  
のはる小をむらむ寝せて。とむく。まて平野くやたらぬそのは。  
相對り坐り。生嫗乃兩手を婦乃背へまらむ。前腹のくへ撫



摩く。數十遍。その心得も。腹上へたむらむ。たれん小。やう小く  
其の後兩手の大指を。肋骨小沿う。章門の方へ按おはす。ささく  
兩手を仰むけて。横骨乃うくさへ入る。拘拳。その倚側たる。この  
たれん正中へ推送あを。前の意味とかなむ。下より整頓小。兩掌  
後を用ひるもよし。とむく高ところより墜はく。とむく轉じて後胎乃  
大小倚側せられた。その胎乃倚側し。たれん上小く。側卧小させ。  
收生嫗を其の後へはりて。己の片足をのこして婦の股乃間へ  
さへ入る。婦の脚をおのの膝よりうけ。手は股乃間よりまらして  
下より胎を拽挙す。この手を上の上より正中へをかられやう小  
とむくなり。擲撲かむむ。大小倚側せらむ。正位小のむらむむ  
る。このまら小産のけはく。とむくあり。このめく心得居べし。あは



と行ふも鎮帯の必解脱て。たゞの小正位小復ら脱試診後。まじく全腹を纏束く。初小のよあしく小まじく。其の胸下を緊結ても。帯乃ため小胎乃やいふまじく。あり術意よく知る。産たことたり。

子宮の位置を探り知る。産たあと試みる。

坐草前小。預胎の順逆横偏をたのり。および産の遅速難易を知得小。探宮小あらざば。たゞのあはれ試ひひく。陣痛くびく。かりととも。子宮の陰戸小臨ぬうち。産出する。その小あらば。子宮已小産門小臨くも。支障そのあはれは。小破漿たる。ゆのち。却て娩出べし。便を失ひ遅滞ことあり。と。然らば。ゆのち。ゆのち。努力くとも。たゞ疲勞試す。たと。り。ゆのち。産出く。ゆのち。ゆのち。努力ゆ。小。却て

胎を倚側する。の横小。さ。せ。く。い。く。困難小。い。ま。ら。ゆ。透小。母。子。の命を殞こと。あ。れ。ゆ。ゆ。小。陣痛。た。び。く。かり。と。とも。自然の努。挿。の。努。さ。の。ん。小。な。る。ま。じ。く。と。も。娩期。小。な。ら。ぬ。ゆ。と。よ。く。合。點。さ。せ。く。産。婦。の。意。を。落。つ。の。せ。努。力。を。い。と。の。せ。ぬ。か。尤。も。ま。の。あ。は。れ。と。も。坐。婆。の。預。を。の。婉。期。を。知。る。と。い。自。己。を。安。小。身。を。勞。無。益。の。あ。と。小。隙。を。も。た。ま。あ。坐。草。以。前。小。探。宮。が。肝。要。な。り。と。わ。と。い。産。五。六。月。より。も。探。て。る。と。い。た。の。ち。と。も。苦。悶。乃。と。た。ゆ。ゆ。と。と。ら。羞。て。厭。こ。の。な。る。と。事。な。た。と。き。ゆ。も。坐。婆。ゆ。を。診。の。と。た。と。あ。は。れ。と。も。腹。上。より。察。し。の。ぬ。る。ゆ。の。も。こ。ゆ。ゆ。れ。ば。必。そ。の。實。を。知。得。る。と。も。坐。婆。も。ゆ。ゆ。と。ゆ。ゆ。と。心。得。あ。く。ゆ。ゆ。と。事。忘。な。る。ゆ。ゆ。と。り。て。も。羞。か。と。い。と。も。厭。の。と。け。ゆ。も。男。子。乃。産。科。鑿。も。探。宮。を。



臨産乃第一義として必おのこふより預遅速吉凶を察し知こと  
ふらかりたり。その法は陣痛をひくたるとはた小産婦を坐せし  
あまの體へ靠らせ。坐婆の右乃手へ綿絮やうれものをさみ  
のせ。そより肛門をうけし。陣痛のくるおと小提挙て。肛門を推し  
きゆる。胎の會陰へつたけし。やうもさる會陰乃内筋を損ことあ  
るり思はせし。そのう人児頭の陰戸へむりやうふさる。こめふの  
くたれこと尤も。陣痛次第小泣のり。腰間をこくなりて。裂がごと  
き痛をおろえ。周身熱をゆるほし。眼中小花はえ。妊婦自身小陰戸の  
うちをさしたるのやあまのこごたれふりてち。その産ちのた小あ  
まし知し。この肛門をうけし提挙をさる小綿絮をさるそのはく小  
捨てまら中指を用て陰中を探しこれ小胞胎己小産門ふのどと。膜

中小水漿充滿するも。指頭ゆきむりし推さる。そのやぶる音こ  
の小知し。漿水下るなれども。安小胞膜を突破し。漿液を洩れし。こ  
なるたれしけしせぬ。そのこ小あまのこごたれふりてち。その産ちのた小あ  
まし知し。この肛門をうけし提挙をさる小綿絮をさるそのはく小  
捨てまら中指を用て陰中を探しこれ小胞胎己小産門ふのどと。膜  
ごり。自然小委ぬこと少。害あることある。そのかたは。必その期しるをは  
つたれしことかんとし。たまふら破るも苦痛の堪がたれしもの有て不得  
止破る水液を逆とあり。賀川家小中指食指小指を破しひくも。  
つらく脹るも。指先ふてむりし推さる。そのり小くも破る。そのりて。抗  
杯へ破ぬことゆる。努張の至ぬあひ小破ゆきふて。好きこと小あらは。まの  
水液も。粘滑甚し。たそのり。あまなけし。胎乃陰戸を出る小苦惱  
多く。支障とあるゆき小。尤緊切なる液少。この物さ人洩さるあ  
ひあまのこごたれふりてち。そのり小くも破る。そのりて。抗



娩の助しなすべし。第一の至寶なり。と進がさめ小あを。ひて天より賦與  
ところの具あれ。い急小子宮口の陰戸小臨ことなきて。胎傾するまに膜  
皮の破る。その聲の外へ聞るふとのこゝろあ。いり破ることも知れむ。  
水液無益小洩出のまならむ。胎もまじく倚側。まじく横骨小障られ  
て出ぬる。いりくさぬくの困難をなす。ふりて胎がい急小胎位正  
び陣痛をげし。下肛門へ徹痛あはあひ。いり努力をいりて。尤可  
くらぬあとなり。たとへば大便もる小も。時のさらぬ。いり努力も  
出る。その小もあらぬ。いりも揣量も。いりて俗人ら狼狽や。いり  
りのなる。と坐婆の心得よろ。いりね。それがさめ小大なる苦痛を  
増しむることあ。陣痛あり。いり。安小坐草志むべ。いり。いり  
期と認るあやまる。いり。たとへば陣痛いり。そのま小産る

ことあり。いり。いり。希なることあ。いり。いり。坐婆の心得の  
驚擾とあらぬ。妊婦の意の降やう小。いり。いり。肝要あり。左なる  
ば。たとへば産も滞る。いり。産後小眩運崩漏なるの症發。いり。いり  
らぬ急衰。いり。いり。皆坐婆の過なり。探宮小先中指を用  
小。餘の四指を屈む。中指を用る小。あらぬ。指頭短かりて。いり  
あ。食中二指を内る小。いり。心得あり。二指をいり。いり。子宮口已  
小臨たるを知。後と。いり。子宮口二指をいり。いり。分娩の期た。いり  
。三指を内る小。いり。いり。小娩んと。いり。いり。四指あら。いり  
と。いり。いり。産の期の。いり。いり。いり。子宮口。いり。いり  
いり。いり。子宮口。いり。外邊を中指頭小。いり。循旋。いり。硬糞の肛門小迫  
たる。いり。肛門を指末。いり。圓轉せ。いり。いり。便氣ある。いり。いり。理小



て其の婉期を促し尤妙なりとて子宮已小開するをたも。全手を肉る小  
小足るものなり。殊掌の纖軟ある坐婆への術を施し便宜。その妊婦  
も男子の産科小委するやうなる心づかひもあらねば予が坐婆小の術  
を傳たしとあり。これがためなり。膜のいさぎ破れ其のハ蠟びたの縮小  
水をつみたるやうなる手あり小軟たき指頭がさるゝと凹りの  
ど。児頭を硬く髪あき。扱ぐればう小辨別なり。児頭已小臨その  
も。その頭を指され小摩旋。まゝらむうへとこ推やるやう小ま  
ま。其の勢少くゆるやく婉るものなり。子宮の倚側より藏府の推排  
て。倚斜うこの一方小あるゆゑ小左と右も定くハひぐたことなり。  
臨産前め腹上より按てあき試たり。妊婦への傾く小胎動を知る  
そのなり。こことと整復してもやもさきさへ傾きさく。たとい正中小あ

るも陣痛の努挿小りて。倚側こともあるものなり。そと子  
宮口より産門小臨され小。自そのゆるゆる正位小復るもあり。  
児正く翻轉し。頭を下ゆて産出べ勢を得るも。子宮倚斜くその  
口産門小向さるゝとされ小。これを探るもその口を得る。その傾くはあ  
らのとも知小あらね。指と及こと難かゆゑ小。その以前小胎の倚側べたこ  
と胎動を知る。こゝに疑ふ。この時の用小そる。胎の倚側の  
この腰脚小寧急をかき腫あるもそのゆるゆる腹状もた。小知  
る。そのゆるゆる倚斜の明白あらね。そのゆるゆる探る。知る。こ  
あ。子宮口の前後左右のゆるゆる傾側。やとかり。その口を  
ゆとむるも猶。こゝに小。子宮子。を不治と定。こゝも。よく  
探る。必得らる。そのゆるゆる。婉。こゝと捨る。こゝにあらば。こゝに







る。或は知れぬ。固執をせしむ。予がらよきころと細心小味て。或は日用の事實  
小検。小補。な。や。の。よ。べ。う。ら。げ。

坐草分娩。あ。び。胞衣。と。下。辱。小。卧。む。べ。た。と。示。す。

陣痛のとき。小。手。の。十。指。頭。小。脈。と。げ。く。應。と。間。も。な。く。免。身。と。知。る。これ  
と。見。る。小。の。坐。婆。の。五。指。頭。と。孕。婦。の。五。指。頭。小。あ。の。せ。き。診。べ。く。陣。痛。の  
腰。あ。び。肛。門。へ。次。第。小。及。一。眼。中。ち。ら。く。て。腹。も。裂。く。と。り。や。う。た。る。痛。あ  
ま。く。も。猶。う。ち。さ。く。ぬ。る。も。の。前。糸。小。の。や。う。小。探。宮。小。診。の。ま。ら。げ。と。り  
く。腹。へ。手。を。や。り。て。その。倚。側。く。や。り。う。や。と。ころ。む。む。努。挿。ふ。う。り。く  
正。中。小。あ。り。一。胎。が。その。期。小。あ。ら。び。く。傾。こ。と。あ。ま。く。よ。く。診。得。て。よ。き。一。小。て。も。倚  
側。た。る。と。あ。ら。び。腹。上。う。り。も。前。の。整。胎。の。意。を。帯。て。と。或。正。中。へ。推。送。や。う。よ。き  
ま。ば。それ。かり。ふ。う。ま。う。て。と。あり。児。頭。已。小。産。門。と。出。る。と。き。小。の。両。手。を。仰。て。

大指を児の肩へかけ。餘の爪指と平く小児の胸へあて。指頭をそろへ。必肋骨を  
指頭めく。し。め。ぬ。や。う。小。細。心。小。あ。ら。び。く。陰。門。の。上。邊。へ。む。け。く。こ。と。と  
搜。出。と。う。り。そ。一。下。へ。む。け。く。ひ。き。ぬ。け。べ。會。陰。の。肉。薄。脆。と。傷。や。と。一。找。ぬ。こ  
を。よ。け。く。必。上。邊。へ。向。く。找。ぬ。く。と。法。と。ま。で。平。産。の。そ。の。自。然。小。委。せ。く。う。中。こ  
落。と。と。ま。ら。も。よ。ま。れ。ど。も。已。小。頭。と。出。た。る。と。せ。き。も。は。あ。ら。び。く。と。ら。げ。  
あ。ら。び。出。る。血。と。児。の。口。中。へ。入。ぬ。や。う。小。心。め。け。く。よ。し。胞。衣。の。ひ。び。直  
小。下。べ。た。と。の。な。れ。が。平。産。る。う。べ。患。さ。ら。れ。ど。も。さ。ま。ま。一。滞。滯。と。ら。げ。と。れ  
と。産。門。ま。で。ぬ。れ。出。し。志。ま。ら。く。と。あ。あ。た。と。た。た。と。小。手。と。う。り。と。と  
く。速。小。下。る。あり。胞衣のこりて。あ。ら。び。小。遲。疑。と。ら。げ。子。宮。口。と。閉。た。ゆ  
え。小。の。小。拽。と。も。下。ら。げ。と。あり。前。小。の。入。る。と。と。世。間。の。坐。婆。の。や。う  
小。児。の。娩。出。と。と。の。ま。く。小。鎮。帯。小。腹。中。と。あ。ら。び。紮。て。胞。衣。を。帶。う。り。上



へ隔絶たるは。より分て下りて。鎮帯ゆる急とあるもつづみ。力すくのせし小  
臍帯とさうへく。拽断しり。と下りて。おぼろしく。ことまわあることなり。  
惣て胞衣と拽出さし。胎とちがひて。陰門の下邊へむけく。とらくと拽  
ゆる。ゆるもされれば。ひたきる。ゆるあき。必ず上邊むけく。拽し。厳制する  
里。その法も。坐婆の両手を疊め。うく伏て。頭と下げ。兩臂を地へ據。両手乃  
大指食指を用て。とらくと拽出。たる。その。小指小纏。とらくと拽。と小  
臂と。うのせて。指頭。ゆる。あ。ら。ひ。く。拽出。となり。臍帯。あ。ら。く。出。を。と。り  
たる。と。た。し。左。の。手。の。食。中。二。指。を。臍。帯。小。沿。て。陰。門。中。小。き。と。め。胞。衣。の。こ  
ころ。小。し。り。て。胞。衣。を。と。り。指。頭。小。き。と。め。右。の。大。指。食。指。を。その。左  
の。指。の。表。より。う。けて。力。加。逐。次。小。左。指。を。と。り。め。と。ら。く。と。ら。く。の。中。を。兩  
三次。小。し。て。胞。衣。の。ゆる。なり。胞。衣。と。り。と。子宮。の。底。小。ある。と。ら。く。な。る。と。

を。倚。側。こと。と。あ。き。は。安。小。拽。ゆる。臍。帯。と。断。こと。あり。鞆。強。り。の。い。子宮。を  
と。り。小。拽。出。して。惱。と。なる。こと。ある。と。皆。坐。婆。の。術。小。ら。く。と。ら。ぬ。ゆ  
急。なり。坐。婆。と。く。と。小。述。る。趣。を。心得。て。の。後。も。その。手。の。柔。軟。小。し。て。織  
き。と。の。い。指。さ。ら。く。も。全。手。を。入。る。小。支。障。な。ら。く。胎。娩。出。て。ま。も。な  
く。坐。婆。の。右。の。全。手。を。入。る。子宮。の。うち。と。探。さ。る。胞。衣。の。取。在。明。く。小。探。知  
る。べく。と。り。子宮。底。小。滞。着。て。た。る。と。ら。く。と。ら。く。の。なり。とも。その。間。小。指  
を。入。る。あ。き。を。と。ら。く。指。の。間。小。胞。衣。を。と。ら。く。と。ら。く。掌。と。と。ら。く。外。小。あ  
る。左。の。手。の。臍。帯。と。と。り。て。と。ら。く。と。ら。く。引。小。拽。出。し。再。手。を。子宮。中。小。入  
て。襞。積。の。あ。き。の。片。膜。凝。血。と。あ。る。と。指。頭。小。て。探。り。あ。ら。く。と。ら。く。と  
出。さ。す。と。片。膜。と。と。ら。く。と。ら。く。冒。膜。を。見。の。衝突。と。ら。く。小。破。裂。と。ら。く。小。片。と。ら。く。偶  
ら。い。見。頭。小。あ。き。と。ら。く。冒。膜。を。見。の。衝突。と。ら。く。と。ら。く。類。の。と。ら。く。と。ら。く。子宮。の。襞。積。乃



あひづ小とめく。そのまゝ小出さば月経不順蓄血崩漏腹痛寧ろ急  
なやの症と患る因とあり。後日の害を為ことあるべし。とり除かば  
せむじも。見生下くまもなく手を入る小あらざる。施ぐ行ひ  
し。ゆゑ小尋常坐婆のおとれも。後術とくくろ小とめて。胞衣乃下  
ぐたりのをせられたるべし。胞衣下ざる症太要五あり。その第一の胞衣子  
宮口小くつりて。上より洩出る血を盛く。底ある囊のごとく小あり。下  
来らざればその臍帯をつく。拽とも必下ぐ。強て拽出さんとせられ  
その胞帯のまゝより臍帯と拽きりて。重患を招ことあり。ゆゑ小く  
ごらば。安小拽とせく。その臍帯小沿くさへ入る指頭めく。胞衣乃帯  
のまゝ。便宜ゆたへ。一區壓とせり。その旁小空隙と得蓄血その手は  
たくてきてるあり。ゆゑ子宮中あたぐたる血あらくつたりと思はれり。

兩指頭めく。つりて前のごとく小拽出となり。第二の胞衣を子宮  
口小くつり。崩血ちぢふならん。ゆゑその胞衣を拽くと尤速  
あらば。婦の命を殞とあるべし。全手を送入く探らるる。前小  
ゆゑ。小くして手をやく。そのり出。あゝ。崩漏をふせ。術ゆて血  
止るやう。小くして。ゆゑ。行ぐ。胞衣の下たるやう。小く  
し。産婦を詭く。やく。その心の降やう。胞衣を日數過く。自然小  
下ると待つ。も。ゆゑ。小く。その便宜小は。あるひ。胞衣  
の子宮口小く。つりたるゆゑ。知る。崩血已小甚き。ゆゑ。女小手  
下。ゆゑ。胞衣小は。血山  
の崩。小く。小下り来く。死ぬるものあり。その見とけ。周身の經脈  
甚く鼓動。胸腹の動悸。波濤のごとく。かよび昏眩。頭痛。上衝つ。



















おとたり。水の氷を用るとは小。昏眩崩血などの變をふせぐ。小。その効  
舉て數う。その他効用多端。胸腹動悸劇。血大小下て止  
ざるもの。症小。湯液を冷服。奇効を得。この意なり。坐婆心得居とた。人成救とる  
り。多。此小。必疑感とある。産椅  
を用と高枕の蓐をけり。そのう。小右側臥。俗家小。示  
たけ。病家須知小載。産後の熟睡を戒ること。尤あ。心  
得。快寢もの。必喚覚となく。そのま。小睡。體をゆ  
る。寢たる後。残血も滞なく下て復素。もと。後。ある  
ら。前條小。た。難産後。眼を。後。ある  
ひら息の。寢たりとも忽視の。傍

小人をけけ。その眼面と息あひを。産後  
直小藥湯或塩湯。陰吸を慰。分娩時日を過。困  
艱。必爲。平産と。前  
で。小。自然の。産前  
故。小。腹を按摩。胎のさ  
り。小。作意を。害あるこ  
と。小。審辨。あり。

臨産小坐婆の心得

臨月小。腹の形上張大。下の。狭小の。順孕。下張大  
小上狭小。逆孕。の。拘。胎のさ  
の。順逆。必翻轉の機。小。の。あり。







たるその陰中より血残下流するもの。胎の死たるもの多し。水腫ふくも  
患ふことひびき。やもさきまが墮胎するものなり。ゆゑに傷寒痢病を  
こころ下をなれた症あらば手まがしよくせしむべからぬことゆゑ有身  
ゆゑ小下なくも下さきぬなどいふやうある醫師小かまたるは坐波女  
よく心ばけく後害を受させぬやう小さをなす。

産小かまき。腹痛心下脹満く。苦悶するもの。飲食の停滞小く  
りの多し。あつらえあしき坐波女。陣痛小かりたるとれた。産婦の力  
を生といへく湯漬をなす強小喫するものあり。あつらえ小喫たるは  
多々滞り降る。そきよりいへく嘔逆を促大なる害となる  
とあり。あつらえなるも胸下痞く。氣血の運輸あしれ。分娩の  
ぬるものゆゑ。食滞より子痲となり。産後も昏冒崩血など急

變ゆき死ふらるるも食を強小喫たるもの。停滞したるより發せぬ  
まあるものゆゑ。その腹満痛りのを醫師もとせと知たらぬ。  
なやく停滞たるものをひらひらにゆるやう小せしむべからぬことなり。  
妊婦もこのら空腹ありといひく。食をのみせむるならぬ。産するもの  
ゆゑ温ある湯よりやう乃飯を。まあ内を小あへきむるもの。必  
此方より強る可からぬことなり。

食傷霍亂の惱る。むしけづれ産る兒も多々育ぬるものゆゑ。  
先の死胎が多きものぞ。  
産小かまき。面色のあまろ赤く。産後脱血するものあらん。この  
補きおのしる。

臨産背冷もの。或は面色唇はくも青白く。呼氣冷るもの。産後



の變あらんこと。の秘くころろうが。悪寒戰慄。乳房の痿軟小なりきる。その胎児小變あること。豫いひらき。

産小のりく。身小微熱あるを。汗出るも。産後のころろはひあらん。氣をらる。

産小のりく。虚里の動といひ。尤の乳の下むくつた劇そのき。産後小變證あらんこと。ゆひくよりゆひのち。

臨月小なり。崩漏ある。子腹中小死ぬる小あら秘産後變証出るものとあり。

産小臨く。その腹石のぶく堅く。ほやなれたもの。胎の死する小やとめんが。

産小のりく。腹く痛く。死胎小なる。た。通産小てを。活胎なれど。その痛腰肛門へあふる常のあとなり。怒く死胎へ。その腹を按く氣力なく。指のちのる。

妊婦の腹小のりく。二三貫目もある。胎乃死た。

陣痛のりく。小止その。腹中の兒死た。先。

陣痛のりく。小止その。小便の通。死胎とそれ。大ある害をひ出た。

臨産小。小便の通。見頭が横骨の正中へつたけ。来るゆ急。尿道目塞く。通利あ。

通利あ。き。常のあ。ち。







赤小豆の煮汁のやうなるものを下しく。臭氣甚き。胎の腹中小死する  
かゝるややくその胎を抽出せり。

燥屎産路を妨ぐ。婉々たるあり。そを指少く陰中を探ぐんは。

肛門のこふあやう。堅あ石のおく。指先あつるそのあり。

その産婦小のり大便一たりとさひく。たふ小そと斷たつた油成

食指小あやふぬりく。肛門へうのくさう入らたびもかくのおく

く。かくはぐも油のよくさくやうやてのち。肛門の縁を摩旋し。

大便を導す。やうく指少くおれ出はる。蜂蜜膠飴の類を可ども小

のあつた小ら得がたのそたるも。油のくさる。このふはちまう。さ

とふも時の宜小從く用ふ。そあさめくも通下ぬるものも。

油めくも。まこ蜜小あつた油成さうさうたるめくも。烟管の頭を

さうたる竹の方を口小くみ息をきめく。肛門へうのくさうさうじ。  
唧筒少く洋射こく尤も。

児頭陰戸小出く。ひさく動くことなく。頭皮ゆるみたるものなりやも。

臭液のまじり来るものなく。女小死たりと為ぬらう。陰肉膨脹膜

中の水液乾燥つた。陣痛少く逼壓らるるも。脱出ることなう。挿

動をよむ。進む退きまう。死たるやう小く鼻と

出して太氣を吸入するもの小あらむ。ひさく口鼻をふさぐこと。

女小死ぬるもの小あらむ。ゆるものを尋常の産科小諸を必鈎

を用く。曳出せぬ。非業の死をささるなり。むらう。この産成

あとの外むぐ。きあふ心得く。難理とささるも。予の後條小説

あつたもの。發明を聞得も。その時日過に交骨再閉あつた。







児頭子宮口小い。つゝさ死小。あま我探く頭骨うへて。そのりあるやう小  
く。皮たる骨小あつるやう小あぢえ。囊小物を入く振やうなる音あ  
る。このやうかそらうるその。死胎なり。かくたりたるをひまごるとその胎の  
腐壞て。皮肉をまれぐ小ありて下るそのぞ。さあるさた母もはく穩  
ならぬあと小なりゆくあまづよくこころえさせく。よ。  
児うま出出く。聲をたてぬうち。冷るそのなり。そま小のりて温る  
ら。日數歴ぬま小死ぬるそのなり。よく心得べ。死胎あら湯氣のこり  
わくあつてのなるそのなり。  
此三十三ヶ條も。どつととも切要のあつて小く。坐波女うく記得く。事實小  
あつるこく。あま我擴死。そのうへの發明を得く。人を救くこと多うらむ。  
仁惠をこりやう。このる産。まのる小世の坐波女人命の貴重あるあつて我

あつるこく。その職小疎小。惨酷あるあつて我なり。人をあやまり。  
天命の畏べたあつて我悟る。ち。いと蠢愚ことなり。まうく都下小を  
なれたことなき。貧瘠く。多産家も。無事小うまの兒をもあろ  
む。こく我妻も。あまをもちま。世うたりとけひく。絞殺ま  
た。口鼻をささげく息をとめ。あるひや壓ころ。あまをたれ坐波が。  
寒郷小。今もあなりとま。こ。まのらん小。の乃竊小。鉤を用く  
生兒を拽出く。鑿師小。をる。ふはさうたる巨罪なる産。まを産て  
人小。天祿といふその具く。見一人小。一人數人小。數人小。けの衣  
食を。必天ううけく。産出。そのあま。貧儉小。數多の兒を養育  
せん。のらに。飢寒く。死るはぐ。小の。ぬそのなり。まの。のそならに。  
親となり子とある。宿縁のわくをわくへ。閑事小。あらぬ我。



いふ貧窮ひんきやうのくやうかひひびけきばとく。さうらう殺あざとを教もそ  
の類るいをまたまぬ禽獸こうじゆをせぬあとなり。かゝる心こころを起おこす。たとひ現げん  
罰ばつなりとも。貨いげのためふ人をあつと盗賊ぬすびとひも。まさりたる大罪人だいざいじんなり。  
天てんの譴かたしめいこのさうらうと。とゆを後ごしたことはあぢや。

こりあげた心得草卷之上終



